

IoTを理解するgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年09月12日 ~2019年09月23日	ベトナム	ホーチミン市工科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信工学科、情報工学科、電子工学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生 	(芝浦工業大学) 学生25名、TA4名、教員3名 (ホーチミン市工科大学) 学生21名、TA3名、教員4名、職員8名	福田 浩章(情報工学科)、PHAN XUAN TAN(SIT総合研究所)、行田 弘一(情報通信工学科)



図1 開会式

「IoTを理解するglobal PBL」が2019年9月12日から22日まで、ベトナムのホーチミン市工科大学(Ho Chi Minh City University of Technology, HCMUT)において行われ、芝浦工大からは25名の学生及び教員3名、TA4名が参加した。HCMUTからは21名の学生及び多数の教員、スタッフ、TAが参加し、さらに企業のオブザーバも加え参加者の合計は70名以上となった。本gPBLの主な目的は、IoT技術を用いて現実の課題を解決するシステムを提案し、プロトタイプを作成することである。学生らは7つのグループに分かれて現実の解決すべき課題を発見し、IoTを用いた問題の解決策を議論し、提案システムのプロトタイプを開発し、班ごとにプレゼンテーションを行い、両方の大学の教員によって評価を受けた。さらに、文化交流としてメコンデルタツアーが行われた。参加学生はグループでの議論を通じて課題発見力及び解決力を高め、IoT技術に関する理解を深めるとともに、英語のコミュニケーションスキルを向上させることができた。



図2 グループディスカッション



図3 システム開発



図4 文化交流



図5 プレゼンテーション



図6 送別パーティ